

山岳部通信 No.20

山岳部の紹介と活動状況をお知らせしていきます。

今回の山岳通信は、夏山山行についてです。

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別な場合を除き、部活動の県外及び宿泊を伴う活動が制限されています。したがって山岳部の活動も、とても大きな制約を受けています。



コロナ禍の中、今年も県内・日帰りで夏山山行を行いましたので報告いたします。

今年の夏山山行で目指す『頂』は!? 昨年の伊予が岳の隣にある『富山(とみさん)』房総里見八犬伝の逸話??の残る山です。

7月22日(木) なんと、海の日登山へ

富山の登山コースは大きく分けて3つあり、伏姫籠穴コースと、福満寺コース、伊予ヶ岳と富山を縦走するコースです。今回は、伏姫籠穴コースで山頂に上り、下山コースとして福満寺に至る時計回りのコースを計画しました。

千葉駅に7:30 集合(内房線3番線:ホーム中央付近集合)

早朝より自宅を出発し、各自しっかりと対応できていました。全員がマスク着用の姿で集合しました。



千葉発内房線(千葉7:45発)に乗りし君津駅で乗り換え約2時間の移動で、9:21岩井駅に到着です。下車後一路ハイウェイオアシス富楽里へ、アスファルトの車道を約30分。ハイウェイオアシス富楽里で全員の体調確認と給水、トイレをすまし、目の前に見える『富山』へ。

10:10 ハイウェイオアシス富楽里を出発、田園風景の中、登山口である伏姫籠穴に移動。いよいよここから登山行動開始となります。

この伏姫籠穴は「南総里見八犬伝」の重要な舞台となった山。この物語の発端部において、里見家の伏姫と犬の八房は富山に籠もって暮らし、そこで伏姫が八房の気を受けて身籠ります。また、物語の終結部では、隠居した八犬士がこの山に入り、仙人となりました。伏姫と八房が住んでいたとされる「伏姫籠窟」という洞穴が、山中の西面の林道沿いにあります。



ここで下山をしてきた一般の登山者から伏姫籠穴コースの現状にて情報を頂くことができました。2019年の台風15号の影響で、未だ山頂直下の登山道が崩落しており通行はなかなか厳しく通行が制限されている状況で、その方は戻ってきたとお話を頂きました。

この情報から、いったん戻り、下山ルートを利用してピストンでの山行としました。福満寺コースの登山口である、福満寺に移動。約30分のロスとなるが安全第一での山行は必須です。



11:00頃福満寺に到着、身支度を整えて登山ルートへ、取付きから結構な勾配でした。高温多湿の中の房総の山は、なかなかしんどく普段のトレーニングの成果が問われているようでした。

休憩をはさみながら、『富山 南峰』に12:10に到着。本来は「北峰」の開けたところでの昼食予定でしたが、時間的にこの場所で昼食をとることとしました。30分の昼食休憩を取り、「北峰」へ移動。約15分でメインである『富山 北峰』に到着。山頂記念撮影を行



いしばしの大休憩。快晴の中、展望台からは夏霞の中の富士山、房総の山並み、大島をはじめとする利島、新島などの離島、雄大な景色を堪能することができました。

下山は来た道に戻るピストンとなったことから、なかなか軽快に歩くことができました。登山口である福満寺到着後、帰路の電車時刻を確認しハイウェイオアシス富楽里を目指します。

ハイウェイオアシス富楽里で小ミーティングを行い、各自岩井駅の集合時間まで自由行動とするが自由時間は30分のタイムロスのため15分程度となってしまいました。

全員が岩井駅に集合し、岩井駅15:49発の電車で千葉まで帰り今年の夏山山行が終了しました。



来年はコロナが落ち着き、アルプス縦走の天空散歩ができるよう願っています。